

ベルマーク運動の歩み

1960年に始まったベルマーク運動は、ことしで60周年です。
 運動スタート時には、参加校はわずか2263校でしたが、
 現在は約2万7000の学校・団体が参加しています。
 一方で、1992～96年度に8億点台だった集票点数は、
 少子化などの影響もあって減り始めましたが、
 2000年代に入ってから約4億点で推移しています。
 時代の流れと運動のあゆみを紹介します。

1957
 |
 2019

年度	財団の出来事	国内外の出来事
1957	全国へき地教育研究連盟が朝日新聞社にへき地学校支援を要請	なべ底不況(57年下期～58年下期) 58年 日清食品、世界初のインスタントラーメン発売 正田美智子さん皇太子妃に内定、ミッチーブーム 岩戸景気(58年下期～61年下期)
1960	へき地学校などの教育設備の整備・充実を目的とする「財団法人教育設備助成会」(現・ベルマーク教育助成財団)の設立	60年 閣議、国民所得倍增計画を決定
1961	全国のPTAに運動の参加を呼びかけ参加PTA数2,263校でベルマーク運動が実質的に始まる 広島県呉市の上山田小学校から、初の証票小包が財団に届く(4,090点) 東京都文京区の茗台中学校が全国初のお買いもの	61年 実質経済成長率14.5% 坂本九の「上を向いて歩こう」が大ヒット
1963	へき地学校への援助事業が始まる	
1964	ベルマーク資金の累計が1億円を突破	64年 新潟を中心に大地震 東海道新幹線開通 東京オリンピック開催、女子バレーなど金メダル いざなぎ景気(65年下期～70年下期)
1970	「月刊ベルマーク」(現・ベルマーク新聞)創刊	
1972	沖縄の本土復帰を記念して「ベルマークで沖縄の小中学校に教育設備品を」の全国運動を展開	73年 第一次石油危機 74年 高校進学率90%を越す 76年 戦後生まれ、総人口の半数を超える

年度	財団の出来事	国内外の出来事
1977	大阪朝日ビルでPTAへの初の説明会	77年 平均寿命、男性72.69歳世界1位、女性77.95歳でスウェーデンとともに1位 81年 宅配便の取扱い約1億個で、郵便小包（書籍除く）を抜く
1982	ベルマーク証票総累計100万点校が、1,000校を超える	
1984	三宅島噴火（1983年10月）の被災校を支援	
1985	養護学校への援助が始まる	
1986	盲学校の全70校に点字図書を贈る	
1989	ベルマーク資金の累計が100億円を突破	89年 東西冷戦の終結
1990	財団30周年記念事業で 海外援助・聾学校援助が始まる	
1991	海外の日本人学校への援助も始まる	91年 長崎県の雲仙普賢岳で大火砕流
1992	長崎県雲仙普賢岳噴火の被災校を援助	
1993	北海道南西沖地震奥尻島の被災校を支援	
1994	阪神・淡路大地震（1995年1月）の被災校援助（神戸市・西宮市・芦屋市の教育委員会へ）	95年1月 阪神淡路大地震
1995	阪神・淡路大地震の被災校に対して各地のPTAからの緊急援助申請が続々集まる	
1996	阪神・淡路大地震の被災校へ援助継続	
1997	財団の援助対象を拡充し、国内外の教育活動全般に広げる 財団名を「教育設備助成会」から「ベルマーク教育助成財団」（呼称・ベルマーク財団）に改称 病院内学級に初の援助、「ソフト援助」の第一弾として「一輪車講習会」始まる	
1998	へき地学校などへの年次教育助成事業に加えて、新たに「ベルマーク資金」を直接援助に生かす「友愛援助事業」を始める	

年度	財団の出来事	国内外の出来事
1999	小規模の学校を対象に理科の実験や工作をする「実験教室」を開催	
2000	「友愛援助」への寄付校・園に盾を贈呈 財団設立40周年記念事業としてベルマーク運動貢献校に盾を贈る	三宅島の雄山噴火
2001	「友愛援助」への寄付校・園に盾を贈呈	米国で同時多発テロ
2002	「緊急友愛援助」でアフガニスタンの戦災孤児救済 ベルマーク資金の累計が200億円突破	東ティモール、インドネシアから独立
2003	運動参加校が28,000校を超える	
2004	新潟県中越地震の被災校救援で「緊急友愛援助」を呼びかけ、第一次援助を届ける	スマトラ沖大地震
2005	新潟県中越地震の被災校援助を継続、新潟県中越地震援助累計は186校6,200万円相当に福岡県西方沖地震救援に280万円相当、三宅島に帰島した子どもたちの激励援助として150万円相当を拠出	CO2削減の京都議定書発効
2006	公民館、生涯学習センターなどの社会教育施設や大学、短大などベルマーク運動の参加資格範囲を拡大 2年ぶりに校舎を新設し、授業を再開した新潟県山古志小学校中学校に激励支援として100万円相当の援助	
2007	玄界小学校中学校の授業再開の激励援助 能登半島地震の被災校援助 財政再建団体の北海道夕張市の小中学校へ激励援助 新潟県中越沖地震の被災校援助	
2008	財政再建団体の北海道夕張市の中学校へ激励援助 岩手・宮城内陸地震被災校援助 中国・四川大地震、ミャンマー大水害の被災援助 ミャンマー大型サイクロン被災のヤンゴン日本人学校援助	中国・四川大地震 北京オリンピックで男子水泳など金メダル
2009	財政再建団体の北海道夕張市の中学校へ激励援助 中国・四川大地震、ミャンマー大水害の被災援助	自民党から民主党に政権交代
2010	「ベルマーク運動再生5ヵ年計画」開始 運営規定の一部変更が認められ、ベルマーク預金で消耗品のノートなど何でも購入できることに	ハイチ大地震 上海国際博覧会開催 奄美集中豪雨

年度	財団の出来事	国内外の出来事
2010	50周年記念事業 「ベルマークファミリー」キャラクター誕生 ベルマーク版オーサー・ビジット開始 (増田明美、池上彰など5回) 奄美集中豪雨緊急援助	
2011	新規補助事業「教育応援隊」スタート 公益財団法人に移行(6月1日付) 台風12号(和歌山・三重・奈良)被災校援助 東日本大震災援助関連 <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災で被災した257校に各50万円相当の設備品などを贈るほか、緊急友愛援助、震災支援寄贈マークの呼びかけを開始 東日本大震災復興支援活動報告会を東京で開催 	東日本大震災。M9.0、最大震度7。 18,400人超の死者・行方不明者。 巨大津波のほか、東京電力福島第一原子力発電所で水素爆発・炉心溶融も発生。
2012	標語コンクールの最優秀作品をモチーフにしたポスター製作 ベルマーク資金の累計が250億円突破 九州水害被災校援助 東日本大震災援助関連 <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災被災校援助として教材支援を継続するほか、宮城県内43中学校に部活動などの移動バス費用として300万円支援を試験的に実施 	東日本大震災から1年 各地で追悼行事 北海道・泊原子力発電所が運転停止、稼働の原発「ゼロ」に 消費税増税法が成立
2013	財団の本拠事務所を東京都中央区築地に移転 ウェブベルマーク運動スタート へき地ソフト援助の試験事業として出前アート教室を2校で実施 東日本大震災援助関連 <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災被災校援助で、岩手、宮城、福島3県の被災・復興程度に応じた重点的、柔軟な支援を継続。移動バス費用支援も本格的に 	
2014	ホームページの全面改訂 東京学芸大学附属大泉小学校がベルマーク累計点数1400万点を達成。小学校で全国一 広島市の土砂災害被災校を援助 東日本大震災援助関連 <ul style="list-style-type: none"> 希望の教材、クラブ活動や校外学習のために利用するバス代の支援を継続 協賛会社キューピーによる東日本大震災被災校支援の特別寄付が3年間で9800万円。さらに2年間継続 	消費税が5%から8%に引き上げ。消費増税は17年ぶり 広島市北部で集中豪雨による土砂災害で74人が死亡

年度	財団の出来事	国内外の出来事
2015	<p>ベルマーク大使の創設 55周年事業としてベルマークシール、スタンプなどを製作 大学・公民館の参加開始から10年、251団体が参加</p> <p>東日本大震災援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校が必要とする設備品・教材や、生徒が部活動や遠征試合・競技大会、校外学習などの移動で利用するバスの交通費援助を継続 ウェブベルマーク協会から助成金149万円届く 	<p>ネパールで大地震、9000人近く死亡</p>
2016	<p>ベルマーク財団の業務を統合して効率を上げるため、名古屋・福岡の両事務所を閉鎖</p> <p>熊本地震援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本県PTA連合会の要請をうけ、栄養補助食品17,500食の費用として約300万円を緊急支援 熊本・大分両県の被災校90校に総額2450万円相当を支援。緊急友愛援助の呼びかけを開始 <p>東日本大震災援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手、宮城、福島 の3県で小中学校146校を支援 岩手県が31小学校と25中学校、宮城県が15小学校、28中学校、福島県が36小学校、11中学校 支援対象校は、現地の実情に詳しい各県の小学・中学校長会の協力を得て選定 1校あたり18～30万円、総額計3336万円相当を支援 各校が必要とする設備品・教材や、生徒が部活動や遠征試合・競技大会、校外学習などの移動で利用するバスの交通費援助 「寺子屋」的な活動で児童生徒支援をする3県の3団体に各50万円の資金支援 福島・水俣の中学生交流事業に50万円の資金支援 友愛援助、震災支援寄贈マークの呼びかけを継続 ウェブベルマーク協会から助成金888万9,244円届く キューピーの特別寄付が終了 	<p>2017年4月予定の消費税率10%への引き上げを19年10月まで延期することを政府が正式表明 台風10号で豪雨。岩手では高齢者グループホームの入所者9人が犠牲 熊本県阿蘇山中岳が36年ぶりに爆発的噴火 鳥取県中部と茨城県で震度6弱の地震 新潟県糸魚川市では大火</p> <p>熊本県熊本地方でM6.5の前震とM7.3の本震が発生、ともに同県益城町などで最大震度7を観測。住宅や学校、熊本城など多数の建築物が損壊</p>
2017	<p>九州北部豪雨援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月に福岡県朝倉地方と大分県日田地方を中心に集中豪雨、大きな被害発生 財団の現地調査を経て、朝倉市の2小学校、日田市の1小学校に、計155万円相当の希望する教育設 	<p>九州北部豪雨。福岡・大分両県で死者・行方不明者が40人超す</p>

年度	財団の出来事	国内外の出来事
2017	<p>備品・教材を寄贈</p> <p>熊本地震援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本地震被災校14校（8小学校・6中学校）に総額300万円相当の備品・教材を支援 <p>東日本大震災援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手、宮城、福島県の3県で小中学校130校を支援 岩手県が30小学校と25中学校、宮城県が16小学校、27中学校、福島県が22小学校、10中学校 支援対象校は、現地の実情に詳しい各県の小学校長会・中学校長会の協力を得て選定 1校あたり16万円～28万円、総額計2752万円相当を支援 各校が必要とする設備品・教材や、生徒が部活動や遠征試合・競技大会、校外学習などの移動で利用するバスの交通費援助 「寺子屋」的な活動で児童生徒支援をする3県の3団体に各50万円の資金支援 福島・水俣の中学生交流事業に50万円の資金支援 友愛援助、ベルマーク寄贈の呼びかけを継続 ウェブベルマーク協会から助成金630万3870円届く 	<p>那須のスキー場で雪崩、高校生ら8人死亡 天皇退位特例法が成立。その後、退位時期は2019年4月末と決定 上野動物園でパンダが誕生。12月から一般公開 陸上100mで桐生祥秀が9秒98。日本人初の9秒台 トランプ米大統領がエルサレムをイスラエルの首都と認定</p>
2018	<p>ベルマーク大使第2陣を6組9人に委嘱</p> <p>西日本豪雨援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月に西日本を中心に集中豪雨、大きな被害発生 被害の大きかった岡山・広島・愛媛3県の教育委員会の協力を得て、西日本豪雨被災校43校（2幼稚園・15小学校・25中学校・1高等学校）に総額920万円相当の備品・教材を支援 緊急友愛援助の呼びかけを開始 <p>北海道胆振東部地震援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 9月に北海道胆振地方中東部を震源として地震が発生。M6.7、最大震度7は、北海道では初めての観測。 被害の大きかった震源地周辺の厚真・安平・むかわ3町について、北海道教育庁の協力を得て、北海道胆振東部地震被災校8校（5小学校・3中学校）に総額200万円相当の備品・教材を支援 <p>東日本大震災援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手、宮城、福島県の3県で小中学校132校を支援 岩手県が34小学校と24中学校、宮城県が10小学校、27中学校、福島県が26小学校、11中学校 支援対象校は、現地の実情に詳しい各県の小学校長会・中学校長会の協力を得て選定 総額計1020万円相当を支援 	<p>フィギュアスケートの羽生結弦選手が五輪2連覇 大阪府で震度6弱の地震。登校中の小4女子が倒壊したブロック塀の下敷きになり死亡 長時間かつ広範囲に記録的な大雨が降った「西日本豪雨」によって広島・岡山・愛媛3県を中心に死者200人超 北海道胆振東部地震。震源地周辺では大規模な土砂崩れが起き、北海道全域が一時停電した 築地市場が83年の歴史に幕。豊洲市場が開場</p>

年度	財団の出来事	国内外の出来事
2018	<ul style="list-style-type: none"> ・「寺子屋」的な活動で児童生徒支援をする3県の3団体に各50万円の資金支援 ・福島・水俣の中学生交流事業に50万円の資金支援 ・友愛援助、ベルマーク寄贈の呼びかけを継続 ・ウェブベルマーク協会から助成金1387万円届く。うち約830万円は羽生結弦選手のスケート靴のチャリティから 	
2019	<p>事務合理化のため大阪事務所を閉鎖</p> <p>台風・大雨被害援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月の台風15号、10月の台風19号による被害を受けて、緊急友愛援助を実施。同時に各県教委などに連絡して被害を調べ、福島・栃木・千葉・長野の4県に各200万円相当、計800万円相当の支援決定。 <p>東日本大震災援助関連</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手・宮城・福島3県の小中学校、計139校に総額1200万円相当の支援を実施。内訳は岩手が33小学校、24中学校、宮城が15小学校、31中学校、福島が26小学校、10中学校。それぞれ希望する備品かバス代かを選択する例年の方式を踏襲。 ・3県で活動する「寺子屋」や、福島県と水俣市の中学生交流事業など、学校以外の5つの団体・プロジェクトに対し各50万円を助成 ・ウェブベルマーク協会からの助成金968万8672円が届く 	<p>探査機はやぶさ2、小惑星リュウグウに着陸成功</p> <p>元号が5月から「令和」に改元</p> <p>アマゾンで広範囲な森林火災</p> <p>台風15号が千葉県に上陸、送電網に深刻被害</p> <p>消費税が10%に引き上げ</p> <p>台風19号の大雨で堤防決壊140カ所、東北・関東・中部地方に甚大な浸水被害</p> <p>ラグビーW杯日本大会、日本は8強進出</p> <p>香港区議会選挙で民主派が85%の議席を獲得</p>